

# 安全性データシート (SDS)

ダイヤプラスフィルム株式会社 品質保証・環境安全部 品質保証グループ  
〒453-0862 愛知県名古屋市中村区岩塚町大池2

作成日： 2018年8月20日  
社内登録 No.:

## 1. 製品 及び 会社情報

製品名称： 可塑化ポリ塩化ビニルフィルム KS-4000FT  
(Plasticized polyvinyl chloride film)

会社名称： ダイヤプラスフィルム株式会社

所在地： 〒453-0862 愛知県名古屋市中村区岩塚町大池2  
電話：052-412-9908  
Fax：052-412-9840  
E-mail address :mizutani.toshiyuki@mp.dpf.co.jp

緊急連絡先：  
所属： ダイヤプラスフィルム株式会社 品質保証・環境安全部 品質保証グループ  
問い合わせ先： 水谷 利幸  
所在地： 〒453-0862 愛知県名古屋市中村区岩塚町大池2  
電話： 052-412-9908

用途：  
カテゴリ： 産業用 製品

## 2. 危険有害性

この軟質塩ビフィルムは人への健康影響、環境への影響、常温での取り扱い時の影響が考慮されています。

しかしながら、高温で長時間加熱すると、有害な「塩化水素ガス」を発生します。

また、この軟質塩ビフィルムは、高懸念物質である“DEHP”を含有していません。

## 3. 組成、成分情報：

単一製品、混合物の区分： 混合物の成型品(製膜品)

化学名： 可塑化ポリ塩化ビニル混合物  
成分及び含有率： ポリ塩化ビニル、可塑剤、ポリエステル繊維、その他添加剤からなる。

ポリエステル繊維	3-9 %
ポリ塩化ビニル(PVC)	48-58 %
可塑剤	32-42 %
その他	1-5 %

通知対象物質と含有量	含有量wt%	CAS No.	PRTR法	化審法 官報公示整理No.	安衛法 政令番号(別表第9の)	EU-REACH規制 [EINECS No.]
Polyester fiber	3-9	25038-59-9	-	7-1022	-	-
Polyvinyl chloride	48-58	9002-86-2	-	6-66	-	-
Phenol, isopropylated, phosphate (3:1)	16-26	68937-41-7	-	-	-	273-066-3
Triphenyl phosphate	5-9	115-86-6	1-461	3-2522	628	204-112-2
Diisononyl adipate	7-17	33703-08-1	-	2-861、2-879	-	251-646-7
others	1-5	-	-	-	-	-

---

## 4. 応急処置

### 吸引した場合：

高温の溶融樹脂から発生するガスを吸引した場合は、直ちに新鮮な空気のある場所に移動する。  
咳その他の症状が出た場合には医師の手当てを受ける。

### 皮膚に吸着した場合：

不要。

### 目に入った場合：

取り除く。高温の溶融樹脂から発生するガスが入った場合は、直ちに洗浄を行なう。  
目および身体に異常を感じるようであれば、医師の手当てを受ける。

### 飲み込んだ場合：

多量の水を飲ませることにより、吐かせる。身体に異常を感じるようであれば、医師の手当てを受ける。

---

## 5. 火災時の処置

### 消化方法：

火災時は火元への燃焼源を絶ち、消化剤を使用して消化する。燃焼により有害ガス(HCl, CO<sub>2</sub>, CO等)が発生するので状況に応じて呼吸保護具を着用する。

### 消化剤：

注水可, 炭酸ガス, 粉末・泡消火器等の各種消化剤も有用。

---

## 6. 漏洩時の処置

該当なし。

---

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

### 取り扱い：

同フィルムは100℃以下の取り扱い温度条件下では意図的な放出もなく、人体への有害性は無いと考えられる。  
120℃以上の高温で取り扱う場合、揮散下蒸気または分解生成物の吸入によっては、目・鼻・喉に刺激を感じることもある。  
刺激が持続する場合は、当該作業者を作業区域外に移し、医師の手当てを受ける。

また、通常の加工温度及び加工時間の条件では目立った熱劣化を生じないが、過剰な高温または熱履歴にさらされた場合には、分解し塩化水素ガスを発生する。

製品フィルムは解反、摩擦によって静電気を発生する。静電気スパークによる障害、塵芥の付着による表面の汚染を防ぐ為に、製品ロールの巻き出し等の取り扱い時には適切な除電設備を使用する。

製品ロールは重量物であるので、荷役等の取り扱い時は充分注意する。

### 保管：

火気、熱源より遠ざける。変質、変形を避ける為、雨、風、日光、熱にさらされない屋内で 常温保管を行なう。

---

## 8. 暴露防止及び保護措置

### 設備対策：

通常は不要。高温で取り扱う場合は、喚起設備を設ける。

### 保護具：

通常は不要。高温で取り扱う場合は、保護手袋を着用する。

---

## 9. 物理的及び化学的特性

外観：	シート状の固体
比重：	1.26-1.36
水溶性：	不溶
臭い：	基本的に無し

---

---

## 10. 安定性および反応性

### 危険有害な反応性：

PVCフィルムは通常の取り扱い条件においては安定。

### 危険有害な熱分解生成物：

高温で長時間加熱すると熱分解により塩化水素ガスを発生する。

## 11. 有害性情報

皮膚腐食性： データ無し

刺激性(皮膚、目)： データ無し

感作性： データ無し

急性毒性(50%致死量等を含む)：

データ無し

亜急性毒性： データ無し

慢性毒性： データ無し

がん原性： データ無し

変異原性(微生物、染色体異状)：

データ無し

生殖毒性： データ無し

催奇形性： データ無し

局所効果： 製品自体に局所効果は無いが、高温で長時間加熱時に発生するガスは皮膚、目、喉等を刺激することがある。

その他(水と反応して有害なガスを発生する等を含む)：

データ無し

## 12. 環境影響情報

分解性： データ無し

蓄積性： データ無し

水中(魚)毒性： データ無し

その他： データ無し

## 13. 廃棄上の注意

法律または自治体規則に従って、埋め立てまたは焼却により廃棄する。尚、バーゼル条約記載の化合物のうち亜鉛化合物、有機リン化合物を含有する。

## 14. 輸送上の注意

国連分類：危険物として分類されない

製品ロールは重量物であるので、荷役等の取り扱い時は充分注意する。輸送時は火気、熱源より遠ざけ、変質、変形を避ける為、雨、風、日光にさらされない常温での状態で輸送する。

## 15. 適用法令

海外インベントリー： 成型品としては該当せず

包材規制： この製品に適用されている包材は、包材規制に準じ、下記に示す規制物質は意図的には使用されていない。  
鉛化合物(Pb)、カドミウム化合物(Cd)、水銀化合物(Hg)、6価クロム(CrVI)

消防法： 「指定可燃物」合成樹脂類(3000kg以上)に該当

## 16. その他の情報

記載内容につきましては、現時点で入手出来る資料、データに基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではなく、随時改訂することがあります。  
また注意事項は通常の取り扱いを対象としておりますので、特殊な取り扱いの場合には、ご使用者各位の責任において用途・用法に適した安全対策を施してご利用下さい。  
尚、化学物質の有害性には予見出来ないこともありますので、取り扱いには細心の注意を払ってください。